南砺利賀みらい留学

はつうま通信

2023年　7月24日　発行

はじめに

入園から約４か月が経ち、１学期がもう終わろうとしています。思い返すと、本当にあっという間でした。留学生たちは、太鼓練習やテント泊キャンプ等のセンターでの活動、部活の大会等、とても忙しく充実した１学期を過ごしたのではないかと思います。家に戻ったら１学期の間で新たに経験したことや楽しかったこと、大変だったことも家族に共有して振り返ってほしいなと思います。

私は山村留学の経験はありません。だからこそ言えるのが、間違いなくここでしかできない経験は数えきれない程あるということです。自然体験活動のみならず自立心や周りの人への気遣い、計画性など、センターでの共同生活やホームステイを通して人として大切なものを指導員や地域の方と共に考えます。たった４か月といえど、それらの経験も全て集約すると、とてつもなく濃密です。だから、その経験を大切にして家族と一緒に振り返ってほしいと思うのです。

大変なことも楽しかったことも、全てが留学生たちの成長の糧になります。「あの山村留学での経験があったから良かった。」と振り返った時に胸を張って言えるような時間にしてほしいと切に願っています。そして私自身も「あの山村留学での経験があったから良かった。」と胸を張って言えるように２学期以降も精進してまいります。

縄田　柊二

【活動日程】

6／13　ホームステイ入り
6／17　週末コース②
　　（釣り、草木染め）
6／22　センター入り
6／24　テント泊キャンプ（～25日）
6／25　畑の作業
7／1　田の作業
7／2　AM 地域食文化体験参加
　　PM 個人体験活動／畑の作業
7／7　ホームステイ入り
7／14　センター入り
7／15　テント泊キャンプ（～16日）
7／17　誕生日会
7／18　（小）川遊び
7／22　大掃除／田畑の作業
7／23　（中）川遊び
7／26　帰省

ロンレー
子ども村へ
出発！

小動物発見！
（畑にて）

〒939-2516　富山県南砺市利賀村坂上 18
南砺利賀みらい留学センター
TEL：0763-77-4103　／　FAX ： 0763-77-4037
MAIL：nanto-toga-mirai@p1.tst.ne.jp
WEB：http://www.nanto-toga.com/

６／２４～２５、７/１５～１６　テント泊キャンプ

　ロンレー子ども村にて、６月 24～25 日、７月 15～16 日のそれぞれで１泊２日のテント泊キャンプを行いました。１回目は３名、２回目は６名の地元生が参加してくれて、一緒にキャンプを楽しみました。
　１回目から２回目でソロキャンプ挑戦者が２人から５人に増え、それぞれが作りたい料理を自由に計画して作りました。ゲームに出てくる料理を再現して楽しんでいる子もいました。この２回を通してキャンプ・料理技術の成長が感じられ、自分の作った料理に「今まで作った中で一番かもしれん。」と感動していた子もいました。

　テント泊キャンプでは、最初は一人じゃ怖いからとペアを選択して、でも、火をつけるのとか料理もうまくいって、それだったら一人でもいけるんじゃね？と思ったので、次は一人にしました。
　二度目のキャンプの日、雨予報は外れ、運よく晴れになりました!! 火をつけるのもうまくいって、2日合わせて2本しかマッチを使いませんでした!! でも、一人だと朝起きられない問題が発生して、皆よりも少し遅く朝ごはんができました！朝ごはんは、すっごくおいしいフレンチトーストができて、とっても嬉しかったです!!（こはね）

７／２　地域食文化体験参加

　地域に伝わる食文化を地域の方から教わる体験交流会に参加しました。今回は五平餅と五箇山おやきを作りました。ある留学生は「この生地の触り心地めっちゃ良い！」と言って五箇山おやきを楽しそうに作っていました。「こうやって作るんだな～。」と感心する留学生もいました。五平餅と五箇山おやき以外に清流素麺もいただき、地域の食について、実際に作って食べて学べる貴重な機会となりました。

　五平もちが美味でした。やはり、焦がさず、ゆっくりと焼くと、金色の焼き色がつくんですよ。
　あ、あと、五平もちのみそが美味で、他と違うみそが濃く、甘く、美味でした。
　やはり、みんなで作る料理は美味ですね…
以上です。（あいせい）

7／17　誕生日会

１学期に誕生日を迎えた人を祝う誕生日会を行いました。誕生日会は、全て留学生が企画・運営を行います。ボッチャというスポーツや、センター内でのかくれんぼ、班ごとに分かれた夕食作り、誕生日カード贈呈、リアル人狼ゲーム等をしました。ボッチャでは最後に逆転が起きたり、人狼役が他の人をだます人狼ゲームでは人狼役の人が上手く全員をだましきったりと、全てのイベントが大盛況でした。祝う人も祝われる人も楽しく過ごし準備をしてくれた留学生に感謝の一日となりました。

7／22　大掃除

１ 学期末も近くなり、センター内の大掃除をしました。窓の溝や普段荷物が置いてある棚など、普段の掃除ではしない所も取り組みました。窓の溝に溜まっているゴミの量を見て「終わる気がしない…。」と嘆く留学生もいました。廊下を隅々まで拭き掃除した留学生は「ここめっちゃ頑張ったんよ！」と掃除箇所を見せてくれました。苦労して頑張った分、センター全体が明るく綺麗になり、気持ち良く１学期を締めくくれそうです。

7／18（小）川遊び、22（中）川遊び

それぞれの日程で、小中分かれて川遊びの活動を行いました。今年度最初の川遊びということで、どちらもセンター横で遊ぶことにしました。開園当初から改良を続けてきたウォータースライダーが小学生に大人気で、「次はみんなでつながっていこう！！」と何度も何度も浮き輪に乗って流れていました。中学生は、水が溜まっているところで浮かんでいたり、ウォータースライダーの改良工事をしたり、川の中の生き物を探したりと、それぞれ色々な楽しみ方をしていました。２学期に入っても暑い時期は続くので、色々な場所で川遊びを楽しんでほしいと思います。

みらい留学農事歴

6/25 畑の雑草とり
7/1　田の雑草とり
7/2　（畑）間引き、誘引
7/22 田の雑草とり
　　（畑）収穫・追肥

【畑】夏に入り、暑くなってきたこの時期。畑には雑草が元気よく生え、留学生は雑草取りや水やりを中心に畑の手入れを頑張りました。暑い中雑草取りをした後は、「見て、この列きれいでしょ！」と満足気な留学生でした。そして、６月終盤からはついに収穫が！初収穫はきゅうりとピーマン。ナスや白ナス、インゲンも収穫が始まり、徐々に食卓に上がっています。７月 22 日はじゃが芋掘りをしたほか、ほうれん草も収穫しました。

【田んぼ】今月の田んぼは、雑草取りの作業を行いました。前回の作業から３週間ほどで、新たな雑草が生え始めたセンターの田んぼ。７月１日に全員で除草作業を行いました。田んぼを縦列と横列に分け、それぞれ６人ずつ交代で除草作業を行いました。各班とも１時間半程度で作業を終えました。

７月２２日は、十分な栄養が稲にいきわたるよう、帰省前にもう１度除草作業を行いました。７月２４日現在、稲はすくすくと成長を続けています。

保護者だより

先日早くも蝉の鳴き声を聴いた。富山でも梅雨が明ける時期だろうか。我が家から隣の家々に響き渡っていた陽菜の元気な声が遠ざかり３カ月が過ぎた。すっかり静かになってしまった日々にもようやく慣れてきたが、娘の様子は毎日気になる。こまめに更新されるスタッフや学校のブログが有難い。留学生たちの日々の充実が、スタッフや利賀村全ての方々の献身で成り立っているのだと、日々感謝するほかない。

インターネットが人々の暮らしに行き渡り２０年余り。その恩恵に預かる一方で、世の中を変えるほどの技術革新は、人々をより多忙にさせるのだと改めて思う。AI の誕生はどうだろう。少しでも人々の心に豊かさをもたらす技術であって欲しいと願う。一方、どんなに技術が発達しても、人は自然の恵みなしには生きてはいけない。先人の育んだ習慣や伝統文化、価値観を蔑ろにしても真の豊かさからはかけ離れるだろう。我が国が古来より現在に至るまで永い連続性を維持し得たのは、そのような価値観や伝統文化を受け継いできたからではないか。いま、都市部ではそれらが加速度的に失われていると感じる。陽菜には都市部では出来ない体験を通じ、何か一つでも新たな発見や気づきに繋げて欲しい。

私にも幾つかのささやかな発見があった。手紙のやり取りがその一つ。昨今は年賀状すら印刷任せ。手紙なんて高校以来か。拙い字ゆえに時間を割き、心を込めて手紙を書く。自然と心が落ち着いていくのを感じる。今回の留学が無ければ無縁だったかも知れない。もっとも、娘の宛先は母親と兄ばかりであるが。

我が家にとって富山は初の地。新たな発見があるかもしれないと楽しみにしている。

週末コース②　釣り・草木染め

今回は、南砺市内の小中学生１３名がセンターに集まりました。６月１７日は、参加者が皆楽しみにしていた釣りの活動です。講師の方に来ていただき、釣り竿の扱い方から丁寧に教わって、餌を付けたらいざ川へ。ニジマスやイワナが釣れると、「すごい！」「僕のが一番大きかった？」と大喜びでした。翌日は草木染の活動です。金剛堂山の麓から、ヤマブドウの茎葉など４種類の植物をとってきて、一人一枚ハンカチを染めました。染液を煮出す間には叩き染めも。季節の色をお土産に持ち帰りました。

くま爺のつぶやき・・・

子どもたちが育てているキュウリやナス、ジャガイモが食卓に並び始めた。小生の畑のズッキーニやそうめん瓜も食べごろになってきた。汗だくになりながら野菜づくりをして、土と水と太陽の有難さをかみしめている。

さて、子どもたちは夏休みでわが家へ帰る季節になった。帰省前の休日、子どもたちはやることがいっぱい。夏の間世話をすることができない田んぼや畑の草取り、ふだん手が回らないセンター隅々の大掃除、わが家へ持ち帰る荷物の整理。そして寸暇を惜しんで利賀川の清流と戯れている。

ところで昨年度はつうま ７ 月号で安藤スポーツ・食文化振興財団主催のトム・ソーヤースクール企画コンテストに応募、支援団体に選定され２月号で優秀賞を受賞した旨を報告したが、本年度も活動タイトル「生きる力を育む原体験プロジェクト」を応募したところ多数の応募の中から支援団体に選定された。夏休み明けから鶏を飼い生活に根差した体験活動に取り組んでいきたい。

統括主幹　山本 光則